

ご利益

家内安全 病氣平癒 家業繁栄

学業成就

いしづちやま

石鎚山

西日本の最高峰で古くから修験道場として知られ、山の中腹から上は神域として守られ、ナノの原生林などが古来のまま残っている



▲選拝の鳥居をくぐって登山道に入っていく

標高1982m
愛媛県

歩行時間

約4時間30分

標高差

682m

問合せ先

西条市役所観光振興課
☎0897-47-3575
石鎚登山ロープウェイ
☎0897-59-0331

登山適期

4月～11月

奈良時代から山岳修行の道場として知られていた石鎚山は、空海も修行したと伝えられる日本七霊山のひとつだ。日本霊異記には「石鎚山の名は石鎚の神が坐すによる」とあり、今は山頂に石鎚神社頂上社が祀られている。石鎚神社は、山麓に鎮座する本社、山腹の成就社と土小屋遙拝殿、山頂の頂上社の4社の総称で、石鎚山をご神体とし、ご祭神は石土毘古命である。そして御神徳を表すために、家内安全・病氣平癒にご利益ある玉持ちの御神像、家業繁栄・学業成就にご利益ある鏡持ちの御神像、勇気・忍耐・危機守護にご利益ある剣持ちの御神像の三体の神像をお祀りしている。

アクセス情報

バス、ロープウェイ利用で



ご利益行事

毎年7月1日の「お山開き大祭」には、玉持ちの御神像、鏡持ちの御神像、剣持ちの御神像の三体の神像が成就社から頂上社に遷される。山頂ではこの神像を登拝した信徒の体に押し当てる「御神像拝戴」の神事が行われる。お山開きは、かつて山岳修行の道場として栄えた修験道の夏峰入り修行にあたるものともいえる。



石鎚山は山そのものが
ご神体。山頂に現れたブロッケン

▲中腹にある石鎚神社成就社からは、石鎚山の険しくも神々しい北面が一望でき、山のご利益が実感できる。成就社には、石鎚山開山の祖、役小角（えんのおづぬ）にまつわる伝承がある。1300年あまり昔、役小角は石鎚山の登拝を期して、心身を清め山頂を目指したが、どうしても山頂に至る事ができなかった。小角は力尽きて下山しようとしたところ、成就社境内で、ひたすらに斧を研いでいる白髪の老人に出会った。「斧を研いで針にする」という老人のとてつもない根気に感銘を受けた小角は、さらに修行を続けて石鎚山を開山できたという言い伝えである



▲石鎚山中腹に立つ成就社は土小屋遙拝殿とならび霊峰石鎚山への登拝の重要な拠点となっている。開山の祖、役小角が開山することができたことから成就の名が付けられたと伝えられる

Power Spot



▲山麓下谷駅から山頂成就駅まで13分ほどで運んでくれる石鎚登山ロープウェイ

コースガイド

成就社から鎖の行場を登って 石鎚山山頂へ

山頂成就駅-20分→成就社-1時間→前社森-30分→夜明峠-30分→二ノ鎖小屋-40分→天狗岳-20分→二ノ鎖小屋-1時間→土小屋バス停

西日本最高峰である石鎚山は四国の屋根であり、山頂からは天候が良ければ、瀬戸内海や中国地方、九州地方の山々まで展望できる。また、白山、立山、大和大峰山、釈迦岳、富士山、伯耆大山とともに、日本七霊山のひとつとして信仰を集めている。毎年7月1日から10日まで開かれるお山開きには、全国各地から信者が集まり盛大な催しが行われ、白装束に身を包んだ信者たちが登山道を埋める。

山頂に近付くにつれ登山道には修験の山らしい鎖場が現れる。山頂には切り立った岩稜が細長く延びていて、中央に石鎚神社

頂上社を祀る弥山、南寄りに西日本の最高峰である天狗岳が聳えている。山頂までのコースは4本あり、西条側から登る表参道、面川側からの裏参道が昔からのコースだったが、今はロープウェイやスカイラインの開通で西之川、土小屋からのコースが便利で利用者が多い。ここではロープウェイで中腹の山頂成就駅まで登り、土小屋に下るコースを紹介する。

山麓下谷駅からロープウェイに乗ると、一気に標高約1300mの山頂成就駅まで運んでくれる。ここからスキー場のスロープを右に見て進むと、立派な本殿のある石鎚神社中宮成就社に着く。

役小角の石鎚山開山伝承がある成就社は、土小屋遥拝殿とならび霊峰石鎚山への登拝



▲お山開きの参加者が山頂に向かう

笹原の先に堂々とした山容をみせる石鎚山



左・遥拝の鳥居からお参りする登拝者たち
右・成就社境内で登拝者たちは入念な出発準備をする

の重要な拠点。伝承に登場する斧を研ぐ老人が石鎚大神（石鎚毘古命）だと伝えられ、小角の心願が叶ったことから、ここを「成就社」と称し不屈の精神を培い、物事の成就を祈り、またその願い事を叶えるお社が祀られたという。小角が山頂から下山し、遥かに山頂を見返し、「吾が願ひ成就せり」と石鎚山を拝したところが、現在の成就社境内に建立されている「見返遥拝殿」の所だと伝えられている。拝殿の奥が吹き抜けになっていて、神々しい石鎚山の姿をここから望むことができる。

入山門をくぐり、八丁坂をゆるやかに下りきると八丁休憩所で、ここから登りにかかるが、木段が整備された道は歩きやすい。登っていくと前社森の岩峰越えとなり、右手に74mの鎖がかけられた「試しの鎖」と呼ばれる最初の鎖場が現れる。自信がなければ左手の巻道を利用するといひ。山頂への参道となるコースにかけられた鎖は「鎖の行場」で、鎖の合計距離は約230mにもなり、険しい岩場にかかるこの御鎖にすが

る時こそ、邪心を捨て、無私の境地を体験する、まさに命がけの行場といわれている。なお、石鎚山の鎖場は、すべて左が登り、右が下り専用になっていて、どの鎖場にも巻道が整備されている。

岩峰の上で巻道と合流して休憩舎を経て、ブナ林を抜けると夜明峠だ。目の前に岩峰のような天狗岳、弥山など石鎚山の全容が見えてくる。笹原を過ぎてひと登りすると、



▲慎重に鎖場の太い鎖に取り付く



▲成就社拝殿

立寄り情報

国民宿舎石鎚

石鎚山の登山の終了点にある土小屋の宿泊施設。ここから登る石鎚山は特に難所もなく2時間程で山頂に立てる。自慢料理は山菜料理、岩茸の酢の物、アユ、アマゴの塩焼きで、特別料理にはカモヤキシ、イノシシなどを使った鍋などもある。

DATA

☎0897-53-0005 1泊2食6800円～ チェックイン15時、チェックアウト9時 12月～3月下旬まで冬期休館・休館中の問合せ☎0892-58-2111

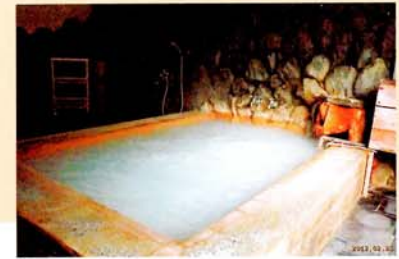


石鎚山温泉 京屋旅館

石鎚登山ロープウェイ乗り場下において、湯の花の深く白濁した湯の泉質は炭酸水素塩冷鉱泉。浴室は内湯だけだが、浴室からは眼下に加茂川を望め、秋の紅葉、初夏の新緑と、山や森の景色はすばらしい。アトピーの療養泉として評判。

DATA

☎0897-59-0335 500円 土日祝10～17時 宿泊は1泊2食8400円～



◀ 弥山山頂から岩稜をたどれば最高峰の天狗岳は近い



▲ 西日本最高峰の石鎚山山頂、弥山に鎮座する頂上社



▲ 鎖場を登るのも修行のひとつである

長さ33mの一ノ鎖に着く。一ノ鎖を慎重にこなすと石鎚山の迫力ある岩峰が迫ってくる。左から土小屋からのコースが合流すると二ノ鎖小屋に着く。高度感と斜度が増すここからは難所が続く。

鉄の橋を渡って65mの二ノ鎖をこなすと、行者小屋から68mの三ノ鎖が山頂に延びている。登りつめると弥山山頂上に到着、最高点である天狗岳の岩峰が天に突き上げている。

弥山の頂上には、玉持ちの御神像、鏡持ちの御神像、剣持ちの御神像の三体の御神像を祀る石鎚神社頂上社が立っている。頂上社にお参りしたら目の前の天狗岳をめざそう。天狗岳には岩稜を慎重に少し下って、登り返すとすぐに到着する。西日本最高点からの眺め

は絶景で、石鎚連山の先に瀬戸内海や太平洋、はるか阿蘇山や伯耆大山まで望むことができる大パノラマだ。

下山は、よく整備されていて歩きやすい土小屋に下ろう。二ノ鎖小屋分岐まで迂回路を下り、右にコースをとって東稜基部に出る。鶴ノ子の頭の北側を巻いて下ると土小屋バス停に着く。

▼ 石鎚山山麓、瓶ヶ森には険しい岩場とはちがう草原が広がる

